

ロジスティードグループの環境マネジメント

環境方針

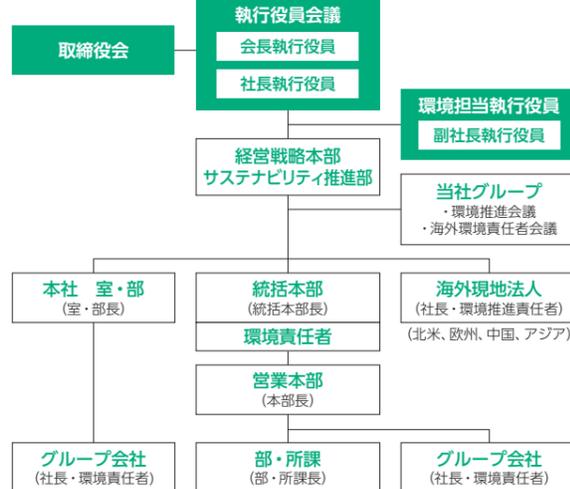
ロジスティードグループでは、以下の4つの方針に基づき、「環境に配慮した事業活動」を推進しています。また、地球温暖化対策については、共同物流やモーダルシフト等のグリーンロジスティクスを強化し、協力会社とも一体となって取り組んでいます。

1. 事業所で発生する環境負荷の削減 電気、ガソリン、LPガス等の消費抑制、廃棄物の再資源化等	2. 環境負荷の小さい物流・サービスの提供 CO ₂ 排出量削減、資源循環による顧客への貢献
3. 環境意識と環境管理のレベル向上 グローバルな環境意識向上と関連法規、会社規則の遵守	4. 自然との共生と環境コミュニケーション促進 生物多様性・生態系保全と顧客・地域との環境協調

環境管理体制

1992年8月に環境専任部署を本社に設置して以来、環境負荷低減を進め、現在はグローバルな“環境に配慮した事業運営”に向け、ロジスティードグループで一体となった活動を展開しています。環境担当の副社長執行役員を責任者とする本社経営戦略本部サステナビリティ推進部が、取締役会および執行役員会議の監督のもと、環境経営全般の実務の責任を負うとともに、グループ全体を統括しています。

環境管理体制図



環境マネジメントの強化

ロジスティードグループでは、管理システムを活用して実績データの把握および監視活動を行っています。また、海外においては重要な環境法令の調査を行い、環境負荷管理、遵法確保等に努めています。

環境推進会議の開催

国内外で環境情報を共有し、環境意識と管理レベルの向上に努めています。

環境会議開催数(2022年度)

国内: 環境推進会議 **2**回 海外: 環境責任者会議 **2**回

社内環境監査の実施

環境コンプライアンス違反の未然防止や早期是正、管理レベルの向上を目的として、社内監査を実施しています。

社内環境監査実施拠点数 (国内:2022年度)

170拠点

環境意識の向上

従業員の環境意識の向上を図るため、地球温暖化防止や資源循環、生態系保全などについての環境eラーニングを国内の従業員向けに毎年実施しています。また、VC活動(改善活動)に環境負荷低減の視点を組み入れた従業員対話型の活動「グリーンアクションワークショップ」を国内で展開し、さらに、革新的な取り組みを表彰する「VCアワード環境賞」も開催しています。2022年度は、脱炭素等についてのアイデアや想いを経営層と従業員が語り合う「デジタル対話セッション」を開催したほか、環境行動計画のビジュアル化に向けたワークショップを行いました。



グリーンアクションワークショップ

環境eラーニング受講率 (国内:2022年度) **87%**

グリーンアクションワークショップ実施回数 (国内:2022年度) **211**回

海外との連携強化

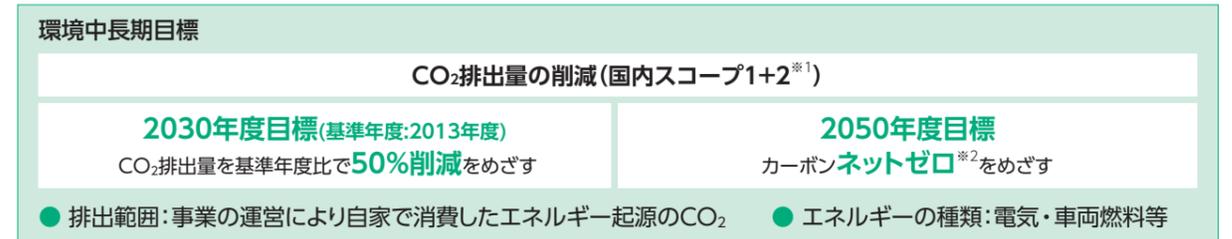
海外も含めたグループ全体での環境負荷低減に向け、海外拠点との連携強化に取り組んでいます。2022年度は、海外におけるCO₂排出量の可視化に向け、各グループ会社の環境担当者へのヒアリング等を実施し、課題の把握やレポートラインの確立に努めました。

第三者認証への取り組み

第三者認証の取得を進めており、現在、サステナビリティ推進部では「エコステージ」の認証を取得しています。2017年度より、ISO14001と同水準である「エコステージ2」へと認証レベルを向上させ維持しています。

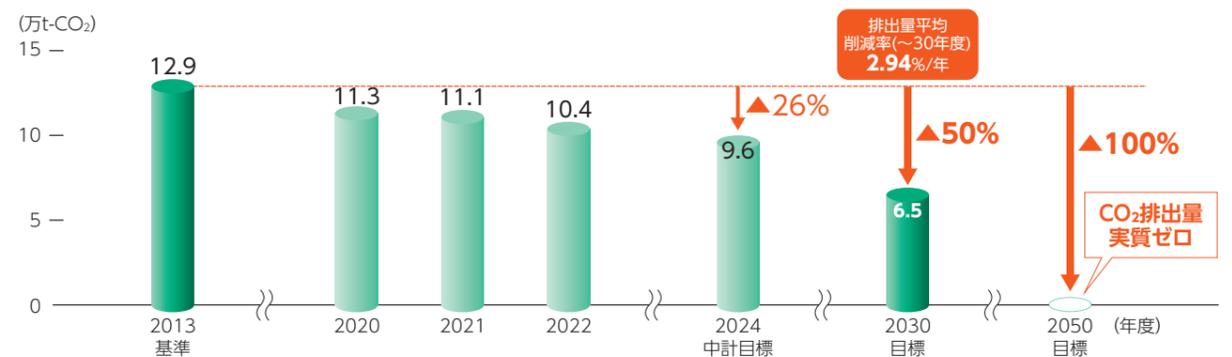
ロジスティードグループ 環境中長期目標2030/2050

ロジスティードグループは、持続可能な社会の実現に貢献するため、2020年度に環境中長期目標2030/2050を策定し、CO₂排出量削減に取り組んでいます。世界的に脱炭素社会の実現に向けた動きが一層加速する中、当社グループは2020年度に策定した環境中長期目標2030/2050を、2021年度に、より意欲的な目標に見直しました。



※1 スコープの定義
スコープ1: 自社施設、車両等からエネルギー(燃料等)の使用に伴い、直接排出したCO₂(例: 自社の車両から排出されるCO₂)
スコープ2: 自社施設でのエネルギーの使用に伴い排出したCO₂のうち、排出場所が他者施設からのCO₂(例: 電気の使用により発電所から排出されたCO₂)
スコープ3: スコープ1・2以外のサプライチェーンによる間接排出(例: 外注委託輸送や従業員の出張等、全15カテゴリ)
※2 カーボンネットゼロ: 温室効果ガスの一つである二酸化炭素(CO₂)の排出量から、吸収量・除去量を差し引いた合計をゼロにすること。

ロジスティードグループのCO₂排出量の推移



CO₂排出量削減に向けた取り組み

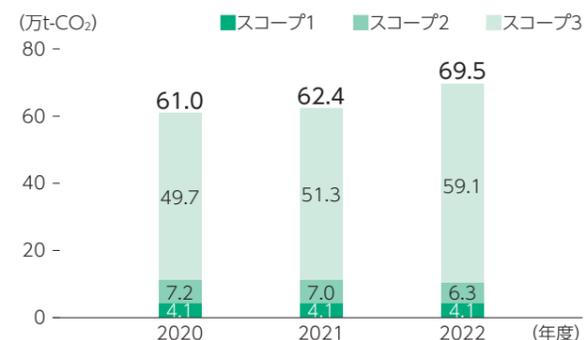
ロジスティードグループでは、環境中長期目標の達成に向けて脱炭素推進プロジェクトを立ち上げ、5つの分野の取り組みを積極的に進めています。

2024	2030	2040	2050
▲26%	▲50%	CO ₂ 排出量実質ゼロ	CO ₂ 排出量実質ゼロ
①省エネ	省エネ機器導入(LED照明、省エネ空調、LIB ^{※2} フォークリフト等) 車両燃料効率化推進(エコドライブ推進、エコタイヤ導入、SSCV導入拡大等) 効率的な物流オペレーション(モーダルシフト、シェアリング等)の拡大 CO ₂ 排出量可視化ソリューションの導入		
②電化	電気自動車・燃料電池車への転換		
③再エネ調達	再生可能エネルギー由来電力の調達量拡大 環境価値証書購入(非化石証書・グリーン電力証書等)		
④創エネ	太陽光発電設備の導入、新技術(水素・風力・燃料電池等)の調査・検討		
⑤排出権取引	排出権取引・カーボンオフセットの調査・検討～実施		

※1 2013年度比 ※2 LIB(Lithium-ion battery):リチウムイオン電池

サプライチェーン全体でのCO₂排出量

サプライチェーン全体のCO₂排出量を把握し今後の削減につなげるため、2017年度から「スコープ3」についても算出しています。



対象範囲: ロジスティード、国内グループ会社

CO₂排出量データの第三者保証取得

ロジスティードグループは、2021年度の温室効果ガス(GHG)排出量について、2022年度に、保証機関LRQAリミテッドの審査によるISO14064-3:2019を基準とした第三者保証を取得しました。今後も、第三者保証を受けることで算出値の信頼性を確保するとともに、「スコープ3」への範囲拡大に取り組んでいきます。

※対象範囲: CO₂排出量のスコープ1およびスコープ2(国内)

環境情報に関する詳細はWebサイトをご参照ください。
<https://www.logisteed.com/jp/profile/csr/environment/>

スコープ3のCO₂排出量の内訳はWebサイトをご参照ください。
<https://www.logisteed.com/jp/profile/csr/environment/activity.html>